

特 集

「＜重層的学生支援＞による福祉人材養成」の成果とこれからの社会福祉教育実践

—山口県立大学 社会福祉学部における

「特色ある大学教育支援プログラム」(「特色GP」)の取り組みから—

序 言

2007年から2009年までの3年間、本学社会福祉学部では「＜重層的学生支援教育＞による福祉人材養成—学生の成長課題と専門教育課題の有機的総合による福祉人間力獲得をめざして—」というタイトルで、「特色ある大学教育支援プログラム」(「特色GP」)の助成を受けました。その成果を報告すべく、本号では「特色GP」の特集を組むことにしました。今回の助成期間中、様々な刊行物が出ましたが、「特色GP」に関わる本学社会福祉学部の取り組みについて、「特色GP」事業推進責任者である加登田恵子教授(社会福祉学科主任)から総括的な報告をいただきました。同報告は、これまでの本学社会福祉学部のこれまでの歩み、そして現在の社会福祉学部の状況と課題が、コンパクトに整理されています。

さらに、同期間中、これからの学部教育を探るべく社会福祉学部で学ぶ初学者向けに、社会福祉学の基軸となるテーマ設定のもと、講義がよりよく理解できるための副読本(ブックレット)を作成しました。今回の特集では、四点の副読本に対する書評をいただき、更に書評として頂いた検討内容、展開可能性を、少しでも前へと進めるべく、論点の共有に基づく対話の試みとして、書評に対するリプライを企画しました。

これまでの本学部の歩みを総括してこれからの本学部の展開を展望すべく、地歩を固めつつより前へ進むための一助となれば、幸いです。

今回の企画の一つの柱である書評においては、第一線で活躍されている学外の研究者の方に、縁あって、執筆をお願いしたところ、快く引き受けて下さり、一つのかたちになりました。また「ふくろう出版」様には、本特集に際して書評対象書を献本いただきました。副読本の編集の労をおとりいただいた森紀章さんをはじめ、ご協力いただいたこれらの方々へここに記して、謝意を表すものです。また、今回の「特色GP」の取り組みで、社会福祉学部の学生はもとより、大学の近隣の方々をはじめ、多くの方にご協力いただきましたことを、感謝申し上げます。